

岡基監発 0516 第 1 号
平成 29 年 5 月 16 日

一般社団法人岡山県トラック協会
岡山地域協議会会長 殿

岡山労働基準監督署長



労働災害の急増に対する対策の徹底について（緊急要請）

岡山労働基準監督署管内の陸上貨物運送事業（以下「陸運業」という。）における本年 1～4 月の休業 4 日以上の労働災害件数は、33 件で前年同期の 18 件と比べて 83% 増となっています。災害の内容を見ると、荷台からの墜落・転落、転倒、飛来・落下、腰痛災害など荷役作業中の災害が同業種の災害全体の 3 分の 2 と多くを占めています。このペースで増え続けると前年確定値の 98 件を大幅に上回り、このままでは前年同期の 2 倍に達する勢いで増加を続けています。労働災害は本来あってはならないものであり、災害の撲滅に向けてさらに取り組む必要があります。

つきましては、貴団体の会員事業場に対し、安全衛生管理体制の確立、安全点検の実施、労働者への安全衛生教育の徹底等により労働災害防止を図っていただきますようお願いいたします。

なお、今般、独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所における調査等により、陸運業の荷役作業における死亡労働災害では、別添パンフレットのとおりに、①墜落・転落、②荷崩れ、③フォークリフト使用時の事故、④無人暴走及び⑤トラック後退時の事故（以下「荷役 5 大災害」という。）が約 80% を占めること、保護帽の着用等荷役ガイドラインに示されている基本的な措置事項が実施されていないことが明らかとなりました。この点も踏まえて、平成 29 年 4 月 17 日付け岡発発基 0417 第 7 号で岡山労働局長名で依頼しておりまます荷役 5 大災害撲滅のための別紙チェックリストの周知啓発等につきましても、併せてご協力をお願いいたします。